

# 事務事業評価シート

(平成 24 年度実施事業)

|       |                                                                                                                                                                  |      |            |       |        |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------------|-------|--------|
| 事務事業名 | もりおか健康 21 プラン推進事業                                                                                                                                                |      |            | 事業コード | 2384   |
| 所属コード | 069200                                                                                                                                                           | 課等名  | 市保健所 健康推進課 | 係名    | 成人保健担当 |
| 課長名   | 吉田 信二                                                                                                                                                            | 担当者名 | 藤原 美穂      | 内線番号  | 6224   |
| 評価分類  | <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理 |      |            |       |        |

## 1 事務事業の基本情報・・・・・・・・・・・・・・・・

### (1) 概要

|            |                                                                                                          |                  |      |       |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------|-------|
| 総合計画<br>体系 | 施策の柱                                                                                                     | いきいきとして安心できる暮らし  | コード  | 1     |
|            | 施策                                                                                                       | 健やかに暮らせる健康づくりの推進 | コード  | 1     |
|            | 基本事業                                                                                                     | 健康の保持増進          | コード  | 1     |
| 予算費目名      | 一般会計 4 款 3 項 2 目 保健活動事業（001-01）                                                                          |                  |      |       |
| 特記事項       | 「盛岡市基本構想」「盛岡市地域福祉計画」を上位とする                                                                               |                  |      |       |
| 事業期間       | <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰越 <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 |                  | 開始年度 | 17 年度 |
| 根拠法令等      | 健康増進法 第 8 条                                                                                              |                  |      |       |

### (2) 事務事業の概要

市民の健康づくりのための計画である「もりおか健康 21 プラン」に基づき、市民及び、家庭、地域、学校、職場、行政が一体となって、健康づくりサポーターとなり、協働で健康づくりを総合的に推進推進していくもの。

市は、計画の策定、進捗管理、評価及びサポーターとしての普及啓発、各種健康づくりのための事業を実施する。

### (3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

国では、平成 12 年 3 月に「健康日本 21」を、県では、平成 13 年 6 月に「健康いわて 21 プラン」をそれぞれ策定している。「健康増進法」が平成 15 年 5 月から施行され、生涯にわたり健康の増進に努めることを国民の責務とし、併せて健康増進事業の実施者は、健康増進のための事業を積極的に推進すること、特に市町村においては、健康増進計画を定めるよう努めるものとしている。

当市においては、平成 17 年度から平成 26 年度までの 10 か年計画として「もりおか健康 21 プラン」を策定した。

### (4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

平成 21 年度に旧盛岡市の「もりおか健康 21 プラン」、旧玉山村の「玉山村健康づくり行動計画」の両計画について、市民アンケート及び業務実績等で中間評価を行い、再編統合を図り、後期計画を作成した。

さらに、平成 24 年 7 月には、国の第 2 次健康日本プランが策定されたが、これに沿って、市町村も計画の見直しを求められている。

## 2 事務事業の実施状況 (Do)・・・・・・・・・・・・・・・・

### (1) 対象（誰が、何が対象か）

- ・ 20 歳以上の市民

## (2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

| 指標項目        | 単位 | 22 年度<br>実績 | 23 年度<br>実績 | 24 年度<br>計画 | 24 年度<br>実績 | 26 年度<br>見込み |
|-------------|----|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| A 20 歳以上の市民 | 人  | 212, 000    | 237, 943    | 241, 079    | 241, 079    | 240, 000     |
| B           |    |             |             |             |             |              |
| C           |    |             |             |             |             |              |

## (3) 24 年度に実施した主な活動・手順

- ・領域別（食生活・身体活動・喫煙と飲酒・歯の健康・こころの健康）実績の協議と次年度計画の立案
- ・「21 計画検討会」の開催（①平成 24 年 9 月 27 日 ②平成 25 年 2 月 13 日）  
平成 26 年度の最終評価及び平成 27 年度からの第 2 次計画策定に向け、平成 25 年度に市民アンケートの実施を予定していることから、評価方法や次期計画の方向性を検討するために開催
- ・「もりおか健康 21 プラン」について周知  
地区健康相談、健康教室等を利用し、計画について周知説明（H24 年度；60 回 / 延 929 人）
- ・市広報「もりおか健康 21 プラン」シリーズとして、各領域の情報や健康づくりに関する情報を 6 回掲載（7 月；熱中症予防、10 月；食育月間、11 月；ウォーキング、1 月；受動喫煙、2 月；自殺対策、3 月；歯周病予防）
- ・「盛岡市保健所フェスタ」で 21 プランコーナーを設け、21 プランの周知、健康に関する情報提供を行った（ウォーキングマップ、総合型地域スポーツクラブの紹介等）
- ・サポーター団体との協議の推進  
保健推進員、食生活改善推進員との協同事業の実施等、後期計画の推進を図った
- ・「もりおか健康 21 プラン」概要版作成（1, 000 部）

## (4) 活動指標（事務事業の活動量を示す指標）

| 指標項目       | 単位 | 22 年度<br>実績 | 23 年度<br>実績 | 24 年度<br>計画 | 24 年度<br>実績 | 26 年度<br>目標値 |
|------------|----|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| A 説明会の開催回数 | 回  | 28          | 50          | 50          | 60          | 75           |
| B 概要版配布数   | 冊  | 594         | 424         | 500         | 91          | 1,000        |
| C          |    |             |             |             |             |              |

## (5) 意図（対象をどのように変えるのか）

### ◆中間評価における全体目標（平成 20 年度市民アンケート調査結果より）

- ①自分は健康であると思う人を増やす
- ②普段、地域の人に声を掛けたり、手助けをしている人を増やす

## (6) 成果指標（意図の達成度を示す指標）

| 指標項目                              | 性格                  | 単位 | 21 年度<br>実績 | 22 年度<br>実績 | 23 年度<br>実績 | 24 年度<br>実績 | 26 年度<br>目標値 |
|-----------------------------------|---------------------|----|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| A 業務アンケート調査「自分が健康であると思う」と答えた市民の割合 | ■上げる<br>□下げる<br>□維持 | %  | 48.9        |             |             |             | 60           |

|                                               |                                                                                                        |   |      |  |  |  |    |
|-----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|------|--|--|--|----|
| B 業務アンケート調査「普段、地域の人に声をかけたり、手助けをしている」と答えた市民の割合 | <input checked="" type="checkbox"/> 上げる<br><input type="checkbox"/> 下げる<br><input type="checkbox"/> 維持 | % | 71.3 |  |  |  | 75 |
| C                                             | <input type="checkbox"/> 上げる<br><input type="checkbox"/> 下げる<br><input type="checkbox"/> 維持            |   |      |  |  |  |    |

## (7) 事業費

| 項目  | 財源内訳              | 単位 | 22 年度実績 | 23 年度実績 | 24 年度計画 | 24 年度実績 |
|-----|-------------------|----|---------|---------|---------|---------|
| 事業費 | ①国                | 千円 | 0       | 0       | 0       | 0       |
|     | ②県                | 千円 | 0       | 0       | 0       | 0       |
|     | ③地方債              | 千円 | 0       | 0       | 0       | 0       |
|     | ④一般財源             | 千円 | 157     | 157     | 205     | 130     |
|     | ⑤その他( )           | 千円 | 0       | 0       | 0       | 0       |
|     | A 小計 ①～⑤          | 千円 | 157     | 157     | 205     | 130     |
| 人件費 | ⑥延べ業務時間数          | 時間 | 150     | 150     | 200     | 250     |
|     | B 職員人件費 ⑥×4,000 円 | 千円 | 600     | 600     | 800     | 1,000   |
| 計   | トータルコスト A+B       | 千円 | 757     | 757     | 1,005   | 1,130   |
| 備考  |                   |    |         |         |         |         |

## 3 事務事業の評価 (See) . . . . .

### (1) 必要性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

#### ① 施策体系との整合性

結びついている。

理由：市民が健やかに暮らせるための健康づくり行動計画である。

#### ② 市の関与の妥当性

妥当である。

理由：法により、市町村は健康増進計画の策定をする努力義務がある。

#### ③ 対象の妥当性

妥当である。

理由：市民を対象とした健康づくり行動計画である。

#### ④ 廃止・休止の影響

その内容：国の 21 世紀の健康づくり計画「健康日本 21」を推進する市の行動計画がないと、今後の活動評価を行う際の評価基準が不明確となり影響が出る。

### (2) 有効性評価（成果の向上余地）

その内容：健康づくりの行動目標に市民ひとり一人が取り組み、関係団体である健康づくりサポーターが連携して支援することにより成果の向上がさらに期待される

### (3) 公平性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

公平・公正である。

理由：特定の受益者はいない。

### (4) 効率性評価

計画策定のための検討会，評価のための市民アンケートの実施は不可欠であり，これにかかる経費及び事務量の軽減は難しい。

**4 事務事業の改革案（Plan）**・・・・・・・・・・・・・・・・

**(1) 改革改善の方向性**

計画策定後の進捗管理について，各サポーターの活動状況を把握し，連携を図っていく体制を検討していく必要がある。

**(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法**

- ・計画推進体制の中で，関係課（健康福祉課・保健予防課・高齢者支援室等）との連絡調整が必要
- ・国および県健康増進計画との整合性に配慮し，第2次計画策定の検討が必要

**5 課長意見**・・・・・・・・・・・・・・・・

**(1) 今後の方向性**

- ☒ 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- ☐ 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- ☐ 終了・廃止・休止

**(2) 全体総括・今後の改革改善の内容**

「もりおか健康21プラン」は市民の健康づくりを総合的に推進するため必要不可欠な計画である。25年度は，次期計画である第2次プランの策定に向けて，アンケート調査により第一次プランの最終評価を行う。